

◎ 奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉



環境問題から見るこれからの日本

川井 秀夫

この秋、シニア自然大学が住友生命の受託事業として府下の小学生を対象に「エコ俳句」を募集しました。何と30,951句の応募があり、その選句作業に四日間忙殺されました。標語的、川柳風のものが大半で、俳句の基準には程遠いものでしたが、子供たちの環境意識の高さに、驚きと将来に対するある種の安堵感を味わいました。

一年半20回に亙り、環境問題を私の視点で検証してきましたが、この辺で総括し、今の時代に何が欠けているのか、自省をこめて考えてみました。

国際レベルでの焦点である温暖化問題。丁度ナイロビで行われたCUP12が終わりましたが、各国の利害対立のまま、12'年後の議定は先送りとなりました。

今回、社会環境問題には触れませんでした。日本国内においても、教育基本法の改正、談合、汚職、横領、虐待、自殺、飲酒運転、いじめ、家庭内暴力等々枚挙に限りがありません。自然環境分野においても、ごみの不法投棄、乱伐・皆伐による過度な公共投資の森林破壊、原発問題、越境汚染、感染症の危惧、河川汚濁等環境立国と言うレベルにはまだまだの感が拭えません。

私は思います。人間誰しも己が可愛く、自己中心になり勝ちですが、少し利己心を抑え、他者を思いやる事ができれば、社会悪・環境悪は解決に向かうのでは。国は国益優先、企業は利益第一、家庭では親のエゴ、どこかのボランティア団体もその範疇に入る同じムジナに見えてくる事があります。

20世紀は山や川など「外なる自然」を破壊してきた世紀とすれば、21世紀は人間の身体という「内なる自然」の破壊が進む人類滅亡の危惧を感じるのは筆者ばかりでは無いと思います。

識者は言う。人間の幸せとは何か。哲学・法学・科学・宗教の頭脳を駆使し、生命倫理の指針を急ぐべきではないかと。防衛費の一部を割く事により容易に実現出来ると。人間がユートピアを作るか、地獄を作るのか。もう少し行方を見たいものです。

このシリーズはこの号で一旦休筆とし、読者の方々に心からお礼申し上げます。

まだまだ書き足りないテーマがありますが、また機会を得て筆をとりたいと思います。

「曾爾高原研修・懇親のつどい」 行事報告

担当・小嶺、岩田

日時：平成18年11月8日(水)～11月9日(木)

行程：(1日目)名張駅9時30分→(バス)→太郎路10時7分→(東海自然歩道)→青少年自然の家11時30分
＜国立曾爾青少年自然の家・泊＞

(2日目)退館→(ウォーキング)→ファームガーデン(亀の湯)→バス14時30分→名張駅15時14分着

参加者：小森・平塚・豊田・樋口・西・市村(勝)・市村(米)・松浦・野田・織・福谷・齋藤・宮澤・志水・砂山・藤田・井上・家入・川岸(次)・川岸(美)・川井・豊島・弓場(厚)・弓場(京)・古川・阿部・勝田・林・小嶺・岩田(順不同・30名)

(第1日目)

久しぶりに再会する人、初対面の人が続々と名張駅西口に集合。挨拶もそこそこに満員のバスは一路曾爾高原にスタート。紅葉の色濃い香落溪ではカワセミが歓迎の飛来。太郎路バス停で下車して東海自然歩道をメジロなどの声聞きながら曾爾高原めざして雲一つない快晴の中を汗ばみながら、スズラン自生地などを観察しながらウォーキング。青少年自然の家に到着して川井会長の挨拶、自己紹介あってオープニングセレモニーを開催。

自然の家でバイキング昼食する。午後の亀山周辺の観察会は昨日の木枯らしに洗われた紺碧の空の下ゆっくりと観察しながら登る。亀山頂上では遠くに吉野、大峯の山々も望め別れを惜しみつつ下山。その後、大塔コスミックパーク「星のくに」支配人・辻本尚克氏より「星と私たち」のテーマで講演会を開催する。

(要旨)『文化や科学が発達して星とのつながりは関係ないと思う人が多いかも知れないが、星を観測するところから暦がつくられている。星空の中を月が巡っていく道がある。白道という。これを28に分けたのが二十八宿という。暦にも記されている。紀元前5世紀位からある。高松塚、キトラ古墳にも聖獣が描かれている。古代文明から英国のストーンヘンジ、ピラミッド、岐阜・金山の巨石群の日時計、七夕、かぐや姫などの話がある。仏教、密教とも深い関わりがある。清少納言もプレアデス星座一和名でスバル座をスマルトで紹介している。又、航海するときには八分儀で星を観測して進路をとってきた』

と星と生活との関係について解説されながらスライドを使って散開星座、車輪銀河などの説明。

その後、「夕べのつどい」に全員参加。終わると丁度素晴らしい日没、夕焼けも小焼けも観察。全員感嘆の声。引き続き、夕食のあと満点の星の下で辻本氏の解説で天体観測をする。

「カシオペア」「アンドロメダ星雲」などダイヤモンドのように輝く星の観測に感動する。

しかし、天体望遠鏡の調整の難しさを体験する。

引き続き懇親会は豊島副会長にバトンタッチ。「ネイティブアメリカン」(擬似のマイクを持っている人だけが発言できる)で自己紹介となり川井会長の挨拶と「祝杯」の唄でオープニング。順次自己紹介が続くなか長老の樋口さんからは創立記念を祝して謡曲「鶴亀」の小謡(こうたい)が披露され参加者の喝采をうけました。

全員の自己紹介のあと、寺田さんからの寄贈の品と小嶺さんのクラフトの争奪ジャンケン大会となり童心に返って大きく盛り上がりました。寄贈していただいた寺田さんありがとうございました。

(第2日目)

お亀池周辺の観察会をしたあと地元のリーダーの指導で、「竹材」での「カニ」のクラフトづくりに挑戦。

私たちは、クラフトの経験があるが「カニ」のクラフトづくりが仲々むつかしく、上手に完成された方も居られたが、時間が足りずに持ち帰る人もあって賑やかな楽しいひと時でした。

会長より、参加者へのご協力の感謝と今後とも各種行事の参加をお願いして解散しました。

ファームガーデンへの途中でツチアケビを観察する。希望者はお亀の湯に入浴して名張駅に向かう。

2日間、天候にも恵まれ、事故もなく会員のみなさん、参加者のみなさんのご協力で大きな成果を得て、意義ある記念行事として「心に残る」イベントとなりました。

心から厚くお礼申し上げます。今後とも各種行事への参加とご協力をお願いします。

奈良・人と自然の会 役員、幹事一同

ミミズ・フェスティバル in 十津川・大塔
ミミズ搜索・講演会の報告

弓場厚次

ミミズ研究談話会の主催で11月11日(土)は五條市大塔町、12日(日)は十津川村で講演会と大ミミズの搜索会が開催され、大塔会場には大雨の中38名、十津川会場には47名の参加者と報道関係も新聞・テレビ・ラジオの各社の取材で大変活気のあるフェスティバルが行われました。

私たち「奈良・人と自然の会」は会場が地元でもありミミズ・フェスティバルに協賛団体として参加し、報道関係への連絡には奈良県教育委員会 文化・教育記者室を通じてPRのお手伝いをいたしました。開催当日には川井会長をはじめ会員9名が参加して積極的な搜索活動を行い、成果は毎日新聞の記事の様に、十津川会場には前日に捕獲された大ミミズ(幼体または亜成体)が持ちこまれて盛り上がり、今後は地元の情報と捕獲で新種の登録が期待されております。なをミミズ研究談話会会長の渡辺弘之先生からは丁寧なご挨拶を頂きました事を報告いたしておきます。

新種・大ミミズ発見

毎日新聞

30センチ 大塔と同種か解剖

十津川 大ミミズが見つかった。ミミズ研究談話会(会長、渡辺弘之・京大名義教授)が11、12両日に開いた「ミミズ・フェスティバル」で十津川・大塔、大ミミズ搜索・講演会の一環。77年に同



発見つかった大ミミズ(手前)とシ・ホルトミミズ(後)の大ミミズを採す参加者。十津川村山手谷で12日

村、91年に五條市大塔町で体長約50センチの大ミミズが発見されており、関係者は「同じピンク色で形も似ている。国内最大の「新種かも」と色めき立っている。

確認された大ミミズは、12日の講演会に参加した住民が、「国道168号の側溝の中にいた」と同じ種では「とし、今後解剖して調べる。新種認定には複数の標本がいることから、談話会が今回のイベントを開いていた。渡辺会長は、体色からすると地下深くで生活する種類。たまたま出て側溝に落ちたのではないかと推定している。」

【栗栖健】

と持ち込んだ。国内最大のシ・ホルトミミズは体長約30センチ、重さ約45グラム、体色は紺。このため、ミミズの分類研究をしている東京・成蹊高の石塚小太郎教諭は「12日に発見された大ミミズは新種にほぼ間違いない。大塔の

「第18回近畿自然歩道まほろばの路」 行事報告

「みたらい溪谷を巡る路」

日時 : 11月20日(月) 近鉄大和下車9時集合16時解散 天候終日霧雨
 行程 : 天川川合~展望台~みたらい溪谷~竜泉寺 約8km
 参加者 : 林令子、平塚等、福谷れい子、弓場厚次、京子、高橋(V)、大石門三(7名)

冬を迎える儀式であろうか、昨日来の風雨も止み、名残の秋の溪谷と紅葉を楽しんだ。紐解けば、今日は旧暦長月三十日で秋の最終日、暦では明日から冬に入ります。それを我々の為に待って居てくれたが如く、錦秋の溪を「神変大菩薩役行者」が迎えてくれた。南天の紅い実、ヤマセミ、雉、アメノウオ、の出迎えに始まり、高橋さんによる吉野林業の講義、樽と桶の違い、色々の「もみじ」の同定など色鮮やかな一日であった。ちなみに昔(明治44年)の尋常小学校の二年生はこんな唱を歌っていました。「紅葉 高野辰之 秋の夕日に照る山紅葉 濃いも薄いも数ある中に 松をいろどる楓や葛は 山のふもとの裾模様 溪の流に散り浮く紅葉 波にゆられて離れて寄って 赤や黄色の色様々に 水の上にも織る錦」

担当 : 大石門三

自然俳句欄

芒原大いなる日の落暉かな

川井 秀夫



5周年記念行事は、曾爾高原にて大快晴のなか有意義な二日間を過ごす。
室生の山容に沈む夕日に感動する。日は昇り、日は沈む 悠久の神秘に息を呑む。

源平の山茶花^{なら}双ぶ曾爾しずか

(往路)

樋口 善雄

蒼穹へうねる芒の銀の彩^{いろ}

(研修中)

秋茜夕焼け小焼けただ茫然

(研修中)

土木通曾爾の案内冬に入る^{つちありび}

(帰路)

曾爾みやげお菓つき銀杏^{いちよう}のかくし味

(亀湯にて)

2日間の研修は、天までが味方した。空飽くまでも蒼く澄みわたり、一点の雲も無き青空の下、高原での研修は終了した。



ゴルフ用語と鳥

小田 久美子

今ゴルフをする方、過去にした方、テレビで見るだけの方いろいろでしょうけど、ゴルフのスコアに「鳥」の名前があるのに気付かれていましたか？ 鳥見をする私はゴルフ番組でいつも気になっていた言葉がありました。そう「バーディー」「イーグル」「アルバトロス」皆んな「鳥」なのです。「パー・par」は基準打数。パーより少ない時何故「鳥」なのでしょう。何年前、そのもやもやがやっと解けました。

「バーディー・birdie」は小鳥のこと。1903年、それまで誰も破ることが出来なかったロングホールのパーを米国のアマチュア選手が破りました。その打ったボールはまるで小鳥が飛んでいるように見えたので、一緒にいた仲間はず「ザツツァ・バード!!」と叫びました。この「鳥のように」飛んだ話が広まり「パーより1つ少ないスコア」を意味するようになりました。その後、パーより2つ少ないスコアが出て、これは小鳥より強く飛ぶという意味から「イーグル・eagle」(鷲)となり、ついに、1921年、英米アマチュア国際対抗試合でポビー・ジョンズ(米)がパーより3つ少ない前代未聞のスコアを出しました。そして羽ばたくことなく何時間も洋上を飛行する海鳥に因んで「アルバトロス・albatross」と名付けられました。

ちいきじょうほう

★〈斑鳩発〉11月13日ツグミ初見(04年は11日、05年は随分遅かったです)これで冬の使者たちはほとんどそろいました。 (勝田)

★11月5日「ん? ホーホケキョ? モズの鳴き真似? ウグイス? エー? 今頃?」と頭を駆け巡る。

6日 朝6時過ぎから「ホーホケキョ キョキョ…」やっぱりウグイスだ! 夕方4時半頃も鳴いていた。もう10日以上も毎朝6時20分頃からホーホケキョ…。曾爾研修の折 野鳥に詳しい方におたずねしたところ「鳴きますよ」と。この小春日和に誘われたのかな? でも紅葉にウグイスなんてね。びっくりです。

・11月6日高野山の裏道にある細川という集落の路上でオスのヤマドリ二羽が夢中でなんか食べている。もっとよく見ようと車に乗ったまま近づくと全く逃げようとせずゆうゆうと食べている。目の周りが赤く尾が長ーく だんだら模様。会いたかったヤマドリ…感激! 後日ヤマドリが逃げなかったことを話したら「鳥は人が近づくと逃げるけど 車だと逃げないよ」と教えてもらう。

・オタマジャクシのいっちゃんはその後気がついたらもうペールにいない。前足が生えて外の世界へ一気にピョンか。続ろつちゃん はっちゃん達はまだオタマジャクシのまま…です。 (齋藤)



【奈良忍辱山森林整備作業】

〈場 所〉 奈良忍辱山国有林 (淀川、木津川、白砂川の源流域)
(忍辱山円成寺駐車場) より徒歩10分 柳生街道沿い。初回作業地隣

〈集合場所〉 国道369号線
忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)

〈日 時〉 12月 2日 (土) 9時20分 第61回
12月21日 (木) 10時20分 第62回
1月 8日 (祝) 9時20分 第63回
1月23日 (水) 10時20分 第64回
2月11日 (日) 9時20分 第65回
2月21日 (水) 10時20分 第66回

〈終了予定〉 3時頃

〈天 候〉 午前6時 奈良県北西部に警報が出されている時は中止いたします。

〈交 通〉 奈良交通バス

平日 [梅の郷月ヶ瀬温泉行き]

土・日・祝 [柳生行き]

JR奈良駅⑥番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場 忍辱山円成寺

日祝 8:26 8:29 9:02

平日 9:30 9:33 10:06

臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100

〈持ち物〉 ヘルメット（防災用）、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物
ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております
《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》
作業をしなくても結構です。森林浴を楽しんで下さい。待っています。

〈連絡先〉 弓場厚次
阿部和生
寺田正博

【作業報告】

11月5日（日） 晴 9時20分

〈参加者〉 中畑、小森、竹本（V）、弓場、寺田。 5名
午前中は作業地境界の再確認と枯損木の処理を全員で行なう。
午後、自然歩道沿い作業を行い、3時終了。

11月16日（木） 晴 10時20分

〈参加者〉 岩田、中畑、明石、弓場、阿部、寺田。 6名
奈良森林事務所 流域管理調整官 倉石 博氏。 森林官 山本美春氏。
箕面森林環境保全ふれあいセンター 自然再生指導官 中田茂巳氏
森林総合研究所関西支所 主任研究員 斎藤和彦氏
同上 主任研究員 農学博士 奥 敬一氏

6氏の来場を迎え、今後の基本作業指針、作業の方法等の指導を受ける。
午後 指針に従って作業を進める。
3時無事終了。



12月度例会「春日原始林 自然観察会」

本年神尾の研修会となります。紅葉・巨木・珍木等 春日山の植生を楽しんでください。
当地域に詳しい 林 令子 氏がご案内致します。

記

- 1 日時 12月 4日（月） AM 10:00～PM 3:00
- 2 場所 春日原始林
- 3 集合 近鉄 奈良駅 行基菩薩像前 AM 10:00
- 4 コース 春日原始林 遊歩道 特別選定コース（観察ポイント 当日地図配布）
- 5 準備 弁当持参 観察用具 飲み物 ほか
- 6 忘年会 本年最後の例会となり、会員各位との懇親を深めたいと存じます。
会場は飛火野の「万葉荘」（0742-26-7933）です。忘年会のみ参加の方は世話人までご連絡下さい。お気軽にご参加下さい。
開宴 3:30分 終宴 5:30分 [会費] 男性：4000円 女性：3000円
- 7 世話人 林 令子 川井 秀夫

第19回近畿自然歩道・まほろばの路

【コース名】 〈五條、維新をたずねる道〉

【日程】 12月12日(火)

【集合】 JR五條駅 午前10時30分

【コース】 五條の旧紀州街道から吉野川に沿ってJR隅田駅まで、約6,3km
江戸時代の町並み景観を残す五條新町(旧紀州街道に面し、宿場や商業の街として発展した江戸時代の景観を今も残している。)から橋本町へつなげるコース。

【交通】 JR

王寺	高田	吉野口	五條
9:24	9:40	10:01	10:19

近鉄

阿倍野橋	橿原神宮前	吉野口	
急 8:50	9:30	9:48	
特急 9:10	9:46	10:00	10:01のJR乗換可能
西大寺	八木	橿原神宮前	
急 8:42	9:08	9:13	
特急 9:15	9:31	9:35	

《担当》 寺田正博

<1月の予定>

第20回近畿自然歩道・まほろばの路

【コース名】 高見川清流と文学を尋ねる路

【日程】 1月18日(木)

【担当】 古川 祐司



新春講演会(予告)『岩井川法面からの考察』

大和川水系 岩井川は全長10km、中ほどで能登川となり佐保川と合流する。春日山のすぐ南、県道80号線 奈良・名張線沿いにある川です。昭和60年に建設開始、平成19年に完成予定の多目的ダムです。工事槽が取り払われ、その全容が望見できます。現地を視察し、その治水事業、湖水化による豊かな自然環境の再生への取り組みなどを、「緑と水」の視点で今一度考えたいと思います。

記

- 1 日時 H19年 1月 28日(日)
現地見学会 AM 10:00~12:00
講演会 PM 1:30~ 3:30
- 2 場所 AM 現地 岩井川ダム法面 PM 奈良教育大学 306号教室
- 3 集合 近鉄奈良駅 行基菩薩像前 AM 10:00(タクシー分乗)
- 4 講師 奈良教育大学教授 理学博士 森林再生支援センター理事
松井 淳氏

連絡先 林 令子
川井 秀夫

協力活動 「いこま棚田クラブ」活動ご案内

【12月の取り組み】

向山の整備(里山林の整備着手しました)、草刈り、石垣出し 椎茸の収穫、
竹炭釜での炭作り…炭焼きに興味の方、経験者の方ご参加ください(縦型で3~4時間)

時期も到来 本格的に 取り組みたい

- ◇ 作業日…12月3日(日)、11日(月)、17日(日)、25日(月)、
「エコアップ教室」12月3日「生駒市子ども会連絡協議会」来訪予定です。
- ◇ 集合場所…近鉄生駒駅下車(鶴橋駅より快速15分)南口側ケーブル鳥居口駅西隣
セブンイレブン前 9:00集合(現地まで車で移動約15分)
- ◇ 持ち物…弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴
- ◇ 連絡先…事務局 大寺道代

★向山(二次林)の整備が始まりました。森林浴をしながら作業に参加しませんか!

平成18年11月度幹事会議事録

日時: 11月7日 午後5時30分~8時30分 場所: 奈良県女性センター

出席者: 13名、 司会: 境 書記: 小嶺

「報告事項」

- (1) 会員数: 95名 現金残高: 300,223円
- (2) 10月例会 「吉野 妹山樹叢」 参加者 16名 11月会報参照
- (3) 近畿自然歩道・まほろばの路「丹生川上神社中社と巨木を巡る路」
参加者 10名 11月会報参照 9月迄の完歩者2名(林、福谷)表彰
- (4) 忍辱山森林整備作業 10月3日参加者5名新事業地の外周確認作業
10月21日参加者5名管理局担当者と外周確認とテープ張り
- (5) シニア自然大学 地域部会10月23日会長出席 斎藤新理事の挨拶、情報交換、来年度募集の件等、我々の会報を担当理事と本部に送る
- (6) 生駒棚田クラブ
4回の例会の他、地域子供教室2回(10月28日、29日)実施
菜の花プロジェクトは順調、ソバ畑5枚のうち3枚イノシシに荒らされる、稲も被害
- (7) 黒髪山自然塾 11月26日クリスマスリース作りする リピーターが8割

「承認事項」

全労災助成金の使途 スライド式電動丸鋸50920円購入の件(小嶺)承認

「討議事項」

- (1) 創立5周年記念行事「曾爾高原」研修参加予定者30名岩田、小嶺現地を下見、打ち合わせ2回準備完了、スケジュールを報告
- (2) 11月~1月の定例行事
例会 ・「春日原始林 自然観察会」と忘年会(万葉荘) 12月4日(月)担当: 林、川井、
・新春講演会 岩井川法面見学会と講演会 1月28日(日)担当: 川井、林
まほろばの路
・「みたらい溪谷をめぐる路」11月会報参照 11月20日 担当: 大石
・「五條、維新を訪ねる路」 12月12日 担当: 寺田
・「高見川清流と文学を訪ねる路」 1月18日 担当: 古川
奈良忍辱山森林整備作業 12月2日、21日 1月8日、23日

編集担当: 勝田 均

TEL&FAX

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫

新春講演会

緑と水と生態系

◇岩井川ダム^{のり}法面からの考察◇

大和川水系岩井川は、全長 10km、中ほどで能登川を合わせ佐保川に合流する。春日山のすぐ南 県道80号線＝奈良・名張線沿いにある川です。昭和60年に始まり平成19年に完成使用開始予定のダムです。工事柵が取り払われその巨大な全容が望見できます。現地を視察し その治水事業 湖水化による豊かな自然環境の再生への取り組みなどを 今一度考えてみようではありませんか!!

岩井川法面見学会と講演会

日 時：平成19年1月28日（日）現地見学会—AM10:00~12:00

講演会—PM 1:30~3:30

場 所：午前…現地 岩井側ダム法面、午後…奈良教育大学 306号教室

集合場所：近鉄奈良駅 行基菩薩前 AM10時（タクシーにて分乗します）

講演会にご参加 奈良教育大学 306号教室へ

講 師：奈良教育大学教授、理学博士、森林再生支援センター理事

松井 淳 教授

主 催：奈良・人と自然の会 担当：川井秀夫 [] , 林 令子 []

この企画は 全労災環境活動助成 を受けています